

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(7/12,7/15 合併号)

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)、山 國(写真)

### <Why 合併号>

先月来、活動地一帯も相次ぐ自然災害を経験(大阪北部の地震 6/18、西日本集中豪雨 7/5~7)。我々としても影響を調査し、その修復に務めたい。と言う訳で 7/12(延期した 7/5 の代替日)、15(日)の両日、現況調査や道の補修、干害防備保安林の簡易木柵の改修に当たった。幸い、谷の気温は平地程ではなく作業に集中⇒成果は絶大(と思う)、両日の活動を以下に纏めて報告。

### <7月12日 9:30~15:00 : 先ずは現況の把握>

気象：天候=曇 (12時の気温：24℃)・・・大阪 32.7℃

活動エリア：44 林班ろ、い(東海自然歩道と西側の干害防備保安林<以下保安林>一帯)

活動内容：東海自然歩道・作業道の巡視と整備、保安林の林床整備・簡易木柵<以下木柵>現況調査

参加者：斧田一陽、倉谷邦雄、杉本佳英、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣 (計 6 名)

### <7/12 の調査結果と取り組み>

**歩道**の水切りは土砂・落ち葉で浅くなっていて、道は数カ所土砂が崩落⇒即修復。通行の支障となる歩道脇の枝も除伐。**保安林**は添付地図の通り南に向った「V2 谷通道」で広さは東西 60m、南北 300m。普段は伏流だが、雨が続けば水は集まり流れ下りながら地表を削り、斜度が強まる中間部からは「まさ土」を削って廊下状に深く地表を抉る。ここに築いた木柵は大量の雨水で左岸側の洗堀が進行(写真は 7/15 に)⇒改修は 15 日の実施。他に倒木一本を処理し、二ヶ所では涸れ川に落ち重なる倒木を堰状に積み直した。(附：「45 林班」に出張していた箕面の江間森林官と出会い、木柵の状況、「みどりのトラスト#94」の記事を紹介)

### <7月15日 9:30~15:30 : 木柵改良と干害保安林の林床整備>

気象：天候=晴 (12時の気温：27℃)・・・大阪 36.1℃

活動エリアと活動内容：44 林班い(干害防備保安林一帯)での林床整備と簡易木柵の改良

参加者：石原順子、斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山 國 (計 8 名)

### <7/15 の成果>

木柵工事に 2 名、木柵部への流路整備を兼ねた土嚢づくり 2 名、林床整備に 4 名の 3 班で、休み休み精力的に作業。山腹に大径の倒木が残る林床整備にはチェーンソーが大活躍。

木柵は高さを約 50cm 下げ、左岸側に寄せるとともに洗堀部には土嚢 50 袋を積み、露岩で守られた右岸側の木柵は高さを河床部まで下げた。これで水は右岸を通り、越流しても左岸への水勢は相当弱められそうである。左岸洗堀箇所の地表にはスギの大木 2 本が育っていて、今回の補強で守れば成功。

林床整備は流れに沿って 200m×5m=約 0.1ha を整備、柵積みの支えになる立木が少ないこともあり、また、水勢を弱め、洗堀を緩和出来るよう、処理木は廊下状の河床に置き揃えた。なお、保安林の足下はなお水を含んで緩く、一方、その保水力がスギ・モミの大木が林立する天然林を育てたのだろう。皆さんも一度(体験)参加を。(本文 以上)

【7/12 集まった「ご一統」様】

後列左より：武田、斧田、中村  
前列左より：倉谷、宮本、茂木



【7/12 埋った自然歩道の水切り】



【7/12 歩道脇の崩落】→修復済み



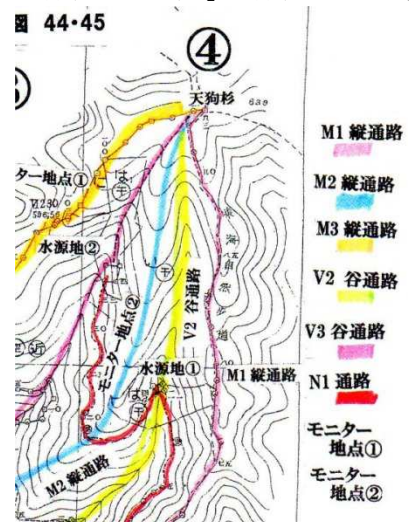
【7/12 通行を妨げる枝の除伐】



【7/12 左岸側の洗堀が進んだ木柵】



【7/15 活動地の地図】-活動地はV2谷通道



【7/15 木柵改修】一丸太を寄せ左岸を守る



【7/15 木柵改修】一水が通るよう右岸を空ける



【7/15 木柵改修】一映画「七人の侍」の馬留柵？



【7/15 木柵改修】一完成状態、左岸は土嚢で補強



【7/15 木柵改修】一洗堀部の地表にはスキ`2本



【7/15 流路拡幅】一土嚢の土採りを兼ねる



【弁当 Time】一木柵手前の崩落は 2m 以上



【下流に折り重なる倒木】



【倒木処理】-チェーンソー作業中



【廊下状になった溪流】



【廊下に処理木を運ぶ】



【廊下に処理木を置き連ねる】一河床の洗堀を抑止  
(今後、必要に応じ下流にも木柵増置予定)



【枯木の除伐(作業前)】



【左の作業後】 - 中央の枯木を除伐



【森は生きている①】 - モミの大木2本



【森は生きている②・コアカミゴケの赤い粒】



【今日も一日お疲れさま】



【森は生きている③】 - 荘川(岐阜)の栃の巨木  
(郡上市の井上会員より)

